

学校推薦型選抜 解答例 令和5年度

小論文

採点のポイント

問1

具体的な例としては、体育授業、部活動、運動会など学校行事を取り上げて、そこで起こりうる熱中症の要因を述べることができているか。なお事例は一つでもよい。

環境要因としては

- ・気温が高い ・湿度が高い ・風が弱い ・日差しが強い（炎天下） ・閉め切った室内
- ・エアコンがない ・急に暑くなった日などを挙げているか。

主体要因としては

- ・体調不良 ・肥満 ・激しい運動 ・熱のこもる服装 ・長時間の屋外作業
- ・水分を補給しない ・休憩をとらないなどを挙げているか。

要因をすべて網羅する必要はないが、環境要因、主体要因を適切に分けて論じられているか。

誤字、脱字などがみられないか。制限文字数に近い記述となっているか。

問2

学校生活としては、問1で示した運動時の例などを取り上げ、その状況に合わせて予防対策を述べることができているか。

環境条件や個人の条件を考慮した対策を述べているか。

- ・暑い時間帯の運動はなるべく避け、休憩を頻繁に入れる。
- ・暑さ指数（WBGT）を参考にする。
- ・こまめに水分補給を行う 塩分補給を行う。
- ・肥満傾向の人、体力の低い人、暑さに慣れていない人には、徐々に暑さに慣らしていくこと。
- ・服装は軽装とし、吸湿性や通気性のよい素材の服を着るなどを記述しているか。

上記の予防対策をすべて網羅する必要はないが、熱中症の原因を踏まえて、論理的に予防対策を述べているか。誤字、脱字などがみられないか。制限文字数に近い記述となっているか。

問3

必要時の処置が順序だてて、論理的に述べるできているか。

- ・熱中症の症状があったら涼しい場所へ移動させ、体を冷やす。
- ・「立ちくらみ」や「筋肉のこむら返り」などの軽度の症状の場合には、涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静にさせる。少しずつ水分の補給を行う。
- ・自分で水を飲めないなど重度の場合は救急車を呼び、すぐに体を冷却するなどを記述しているか。

軽症、重症に分けて論じられているか。誤字、脱字などがみられないか。

制限文字数に近い記述となっているか。